



社会医療法人 仁愛会
理事長 銘苅 晋 氏

地域のニーズを満たす医療機関として、皆様に信頼され、ご満足いただける保健・医療・福祉のサービスを提供する。



社会医療法人仁愛会は地域の中核病院として救急医療や地域医療支援を担う医療法人である。同法人が運営する「浦添総合病院」は、ドクターヘリ事業に先駆けて取り組むほか、今般の新型コロナウイルス禍では重点医療機関として積極的に患者を受け入れるなど、県内医療を牽引している。2023年12月1日には浦添市前田に建設された新病院に移転し、さらなる医療サービスの充実を図る。今回は移転後の浦添総合病院に銘苅理事長を訪ね、新病院の特徴や沖縄県の医療に対するお考えをお聞きした。また、経営理念や人材育成、新型コロナウイルス禍のお取り組みなどについてもお話を伺った。

インタビューとレポート 城間 櫻

法人の設立経緯について教えてください。

創業者の宮城敏夫前理事長が、地域のための理想の病院を作りたいという思いで1979年に医療法人仁愛会を立ち上げ、1981年に「沖縄浦添病院」の名称で今の浦添総合病院を開院したことが始まりです。職員総勢86名（医師12名）からのスタートでしたが、その後検診事業や社会福祉事業も加わり、開院から42年が経った現在、当法人の職員数は1,432名（医師152名）となるまで規模が拡大しました。

私自身は1997年に当法人に入職し、2020年4月より理事長に就任いたしました。

新病院への移転、おめでとうございます。新病院の魅力を教えてください。

新病院は整備理念として「『医療・保健・福祉で人と地域を支える』～生涯安心して暮らせる地域づくりに貢献します～」を掲げています。地域の皆様がより安心でき、職員がより働きやすい環境となるよう、様々な工夫を凝らしてお



浦添市前田に新築移転



一般病床（4床室）



エントランスホール



外来待合室

ります。

患者様にとっての大きな変更の一つは、一般病床（大部屋）を従来の6床室から4床室に減らし、ゆとりを持たせたことです。間仕切りの収納家具でプライバシーを守り、テレビや冷蔵庫等も完備されています。なるべく個室感を出し、快適に療養していただけるような環境を整えました。

外来の患者様がいらっしゃる待合室、多くの方が出入りするエントランスも、従来よりも広いスペースを確保し、木目調で落ち着きのある空間となっています。また、病院と隣接する形で立体駐車場を設置し、雨に濡れずに病院まで移動することが可能となりました。

職員にとっては、動線が大きく改善されました。一刻を争う救急外来の入口はエントランスと別途で用意し、すぐに救命救急センターに運べるようにしました。同棟の屋上にはヘリポートが設置され、受入れスピードの向上が期待できます。手術室は9室から10室に増やし、手術待機時間の短縮と緊急手術の効率化を図りました。

また、旧病院の課題の一つに職員配置の複雑化がありました。病棟によって病床数に差があり、さらに異なる疾患を持つ患者様が混合していたことで、職員が上手く連携しにくい状況を生んでいたのです。そこで新病院では、一定の病床数、疾患別の病棟構成とし、専門性の高いチーム編成を可能としました。加えてスタッフステーションを病棟の中央に配置することで動線が改善され、チーム医療が機能しやすい環境となっています。

新たに導入される「スマートベッドシステム」とはどのようなシステムなのでしょうか。

新病院では、パラマウントベッド社のスマートベッドシステムのベッドサイド端末を、一般病棟のすべての病床に導入しました。本システムの導入は県内初です。

本システムは、ベッドサイドの専用端末に体温や血圧などの測定器を端末にかざすことで、バイタルデータを自動で入力するものです。従来は看護師が測定結果のメモを取り、スタッフステーションに戻ってから記録をしていました



特別室には専用のトイレ・シャワー・ミニキッチンを完備



スマートベッドシステムを採用



ヘリポート



ドクターヘリの出動時にはフライトナースも同乗します

ので、その手間が省けることは大きなメリットです。さらに専用端末では電子カルテと連携し、患者様の情報を集約して表示することができます。患者様の食事や転倒リスク等の状態がピクトグラム（絵文字）で示されるほか、アレルギー情報といった注意事項も表示されます。これも今までは手作業でまとめていました。職員間でリアルタイム情報を共有できることはもちろん、患者様もご自身の状態をいつでも確認することが可能です。

本システムを導入することで、正確な医療と安心を、効率的にお届けできるようになりました。

地域の中核病院としての地位を確立するまでの経緯を教えてください。

設立当初から、当法人は常に地域病院としてのあるべき姿を追求し、新しい医療制度や仕組みを率先して導入してきました。その中で、2001年に沖縄県から「地域医療支援病院」として、県内で初めて承認を受けたことは大きな転機となりました。地域医療支援病院は、地域

のかかりつけ医と役割分担し、紹介患者の精密な検査や入院・手術治療、救急対応等に専念する体制をとります。医療機能の分担と相互連携によって、地域全体の医療体制の充実を図る制度です。

今でこそ理解が進んでいるこの制度ですが、それを実現するためには当時1日に約1,300名いらっしゃっていた外来の患者様を3～400名まで縮小する計画を進める必要があり、大変苦勞しました。診療所の先生方と連携して患者様を引き継いでいただき、中心となる一部の医師も診療所として患者様を抱えて独立しました。外来診療の収益も大幅に落ち込みましたが、今では紹介型の体制が軌道に乗り、その分救急医療に注力することができています。

他にも、2005年には県内で唯一の救急医療ヘリコプターの運航を開始しました。離島の多い沖縄県において、医療の地域格差をなくしたいという思いからスタートしました。2009年には沖縄県がドクターヘリ事業を開始し県の補助事業として当法人が受託することとなりましたが、それまでは自主運営でした。



このような思い切った決断の背景には、地域医療全体の向上を目指す前理事長の強い信念がありました。

法人としての理念と、銘苅理事長が経営するうえで重点を置いていることを教えてください。

当法人の理念は4条からなります。

- ・地域住民のニーズを満たす保健・医療・福祉
- ・信頼と人間性豊かな保健・医療・福祉
- ・働き甲斐のある職場
- ・仁愛会の職員であることが誇れる企業

地域で安定した質の高い医療サービスを提供し続けるためには、職員が安心して力を発揮できる職場であることが不可欠です。2020年に理事長に就任してから、理念に基づいた法人運営を進めるうえで特に注力しているのは人事体制の強化です。

育成面では、管理者教育の機会を増やしました。医療従事者は高い専門性を持った技術職であるという特性上、各々の専門分野に関しては学習意欲があり自然とスキルアップしていかれる方が多いのですが、組織としての力を最大限

に発揮するためにはそれだけでなく、職員をまとめる管理者スキルも重要です。チーム医療を支える管理者の皆さんには、コーチングなど管理者としての基礎を学べる研修を用意し、組織に貢献していただいています。

人事評価制度も来年度の改定に向けて大幅に見直しています。従来の人事考課を時代の流れにあったものに変更することで、適正な評価とモチベーションの向上に繋がりたい狙いです。

職員の待遇改善を進めるためには、法人として利益を上げることが前提です。職員を常に一番に考え、経営の舵を取ることで、そして当法人を次世代に「繋ぐ」ことが私の使命です。

新型コロナウイルス感染症の影響はいかがですか。

同感染症の流行当初、医療機関は重点医療機関と協力医療機関に分かれ、浦添総合病院は民間で県内唯一の重点医療機関として重症の感染患者の受け入れを対応しました。ECMO（エクモ：体外式膜型人工肺）による治療が必要な患者様がたくさん運び込まれ、緊迫した状態が



医療介護ネットワーク 2025 分科会



救命救急センター

続きました。職員をはじめ、当時を支えてくださった全ての方に、この場を借りて御礼申し上げます。

今年5月には新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類」に移行されましたが、今後も引き続き各所と連携し、安心できる医療環境を整備してまいります。

今後の沖縄県の医療に対するお考えをお聞かせください。

沖縄県の医療は、官民の連携が取れており、地域内で相互に協力する意識が根付いている点で大変恵まれていると感じています。

少子高齢化が急激に進み療養が必要な患者様が増加すると予想される中、国は「地域包括ケアシステム」の構築を進める方針を打ち出しています。救急対応が可能な病院が満床になってしまえば地域医療が崩壊してしまいます。そこで急性期の患者は救急病院で初期対応し、その後は回復期を担う病院に下り搬送、回復後は自宅療養を支えるという、病院の役割分担が今後は求められてくるでしょう。こういった地域

法人概要

商号：社会医療法人 仁愛会
 住所：沖縄県浦添市前田一丁目56番1号
 連絡先：TEL 098-878-0231
 FAX 098-877-2518
 設立：1979年12月25日（昭和54年）
 役員：理事長 銘苅晋
 従業員数：1,432名
 URL：<https://jin-aikai.com/>
 事業：浦添総合病院
 浦添総合病院健診センター
 介護老人保健施設アルカディア
 付帯業務：つるかめ訪問看護ステーション
 ヘルパーステーションらくだ
 ことぶき指定居宅介護支援事業所
 ヘルスアップステーションうらそえ
 訪問リハビリテーションアルカディア
 浦添市地域包括支援センターみなとん
 浦添市地域包括支援センターさっとん
 浦添市事業所内保育事業認可保育園ももこ保育園
 労働者派遣法に基づく労働者派遣事業
 生活困窮者自立支援法に基づく就労訓練事業
 介護保険法に基づく介護予防・日常生活支援総合事業

全体で医療を支える密な連携体制づくりは、沖縄県の強みが発揮されると期待できます。

私たちはその中で救命救急医療を担い、社会医療法人として地域に貢献してまいります。

最後に

今回、当法人の中核となる浦添総合病院の新築移転が実現いたしました。これもひとえに日頃よりお世話になっている地域の皆様のお陰であり、改めて御礼申し上げます。

今後とも地域の皆様に信頼され、ご満足のいただける保健・医療・福祉のサービスを提供できるよう、職員一丸となって取り組んでまいります。引き続き仁愛会、浦添総合病院をどうぞよろしくお願いいたします。